



# 人那 物須

那須高生がつくった

义

ま

鑑 4 ち

The people of Nasu



人物鑑  
那須まち

The people of Nasu

4

栃木県立那須高等学校



『那須まち人物図鑑4』を  
開いていただきありがとうございます。

人物図鑑とは、

私たち那須高校一年生が

那須近郊で働いている様々な方への  
インタビューをまとめた本です。

有志で集まった生徒で

編集委員会を発足し

コーディネーターさんの

アドバイスのもと

今までの内容やデザインを参考にし  
新たな人物図鑑を製作しました。

今回は実際に講師の方の職場に赴き

仕事内容を見せてもらいました。

仕事のやりがいや魅力

那須地域への想いなどを

たくさん聞くことができました。

一年かけて検討を重ね

皆で作り上げた一冊です。

ぜひ読んでみてください。

那須高校一年生

編集委員一同



# 「那須まち人物図鑑」の可能性

栃木県立那須高等学校長 近藤 雅仁

「那須まち人物図鑑4」の発刊にあたりましては、大変多くの方々にご協力を賜りまして誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

「那須まち人物図鑑」は、那須まち（那須町とその近郊）で活躍されている方々に本校生がインタビューし、それをまとめて那須まち（に住む方々）の魅力を発信するとともに、生徒たちの地域理解を深めキャリア観を涵養していくというコンセプトのもと探究活動の一環として取り組んでいるものであり、本校教育活動を支える大きな柱となっております。少しずつですが注目されるようになってきており、

今年是他県の高校から問い合わせをいただくほどで、改めてその魅力に気づかされました。

作成にあたっては、本校の「高校魅力化コーディネーター」である佐藤達夫様、川瀬史恵様お二方の力に拠るところが大きいのですが、今年度は新たに心強いサポーターが加わりました。未来を切りひらく力を持った若い人材の育成を目指し特色ある教育プログラムを支援する「一般財団法人三菱みらい育成財団」の「心のエンジン」を駆動させるプログラム」の採択を受け三年間にわたり助成をいただけることとなり、取り組みをより拡充させることができるようになりました。

人と人をつなぐ温もりのあるものに育てていっていただけたら、との思いからです。ページの先に本校生の取組む姿も想像していただけたら幸甚に存じます。

す人物図鑑」と称したこの企画は、本校の抱える課題と「那須まち人物図鑑」がもたらした地域連携が見事にマッチして課題解決に向けた方向性が見出せた出来事でした。今や本校の財産ともなった「那須まち人物図鑑」ですが、その可能性はまだまだ広がっていくものと思われま。その織り成す点線につながり更に面へと広がっていくように、今後も発展させていきたいと思

結びに、重ねて「那須まち人物図鑑4」の発刊にあたりインタビューにご協力いただいた講師の方々とお力添えいただいたすべての方々に感謝申し上げますとともに、今後とも那須高校の教育活動を見守りご指導賜りますようお願い申し上げます。

この「那須まち人物図鑑」は、本校ホームページにデジタル版を掲載し、多くの方々にご覧いただけるようになっております。ただ、私たちは、可能な限り、この取組みの成果を印刷物の形にしたいとも思っています。生徒の達成感をより実感あるものにしたことに加え、地域の方々に冊子を手に取ってもらい、何気ない日常の話題の一つとして



さて、「那須まち人物図鑑」の目指すゴールはどこかと考えたときに、そのヒントになるようなことがありました。それは、昨年十一月に実施した学校祭のことです。本校は今年度から二学級特例校と更に小規模校となり、生徒数が減少していくなかでも活気あふれる学校祭を実施できないものかと協議した結果、これまでの「那須まち人物図鑑」にご登場いただいた方々にご協力を賜り出店していただくこととしました。本格コーヒーのお店があり、おいしいクッキーを販売してくれたお菓子屋さん、店舗だとすぐに売り切れてしまう幻のパン屋さん、そして那須の魅力を発信しているインフルエンサーのタロット占いなど実に充実したラインアップで、来場してくださった方々にも大満足していただきました。「飛び出

## 那須高校沿革

昭和24年	栃木県立那須農業高校（現 栃木県立那須拓陽高校）黒田原分校設立
昭和25年	当時の那須村、芦野町、伊王野村、鍋掛村の組合経営に移管
昭和31年	商業科設置（定員20名）
昭和34年	那須高校として独立誓願を県に行う
昭和35年3月31日	黒田原分校廃校
昭和35年4月1日	栃木県立那須高等学校が開校
昭和37年	全日制課程に変更 普通科（100名）商業科（50名）農業科（30名）
昭和39年	普通科（150名）商業科（50名）学年4学級編成
昭和49年	普通科1学級増の4クラス（180名）商業科（45名）学年5クラス
平成10年	商業科を廃止しリゾート観光科を設置
令和2年	小規模特例校（3学級）リゾート観光科1クラス 普通科2クラス 学年3クラス
令和5年	横浜商科大学との高大連携授業
令和6年	小規模特例校（2学級）リゾート観光科1クラス 普通科1クラス 学年2クラス

02

この本を手にとっていただいた方へ 那須高校一年生編集委員一同

04

「那須まち人物図鑑」の可能性 栃木県立那須高等学校 校長 近藤雅仁



青砥 和希さん  
コミュニティ・カフェ  
EMANON

安齋 陸さん  
那須地区消防組合那須消防署

磯田 久美子さん  
福島整形外科病院

伊藤 貴之さん  
TURBO

金澤 蓮さん  
那須どうぶつ王国

金子 紗花さん  
那須野農業協同組合  
那須支店



真山 えみりさん  
ZPO法人  
那須フィルム・コミッション

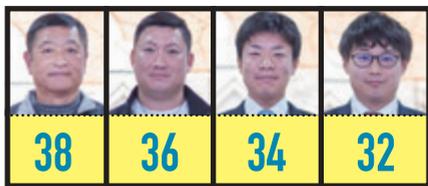
白井 克典さん  
株式会社白井石材

杉森 龍之介さん  
Life is Beautiful

清野 隆さん  
ギャラリーバーン

友吉 心愛さん  
Dream Treasure ☆  
Dance Studio

中村 舞子さん  
篠工芸渦  
ワードローブ



人見 圭祐さん  
那須温泉神社

人見 泰雅さん  
那須町立那須高原小学校

古谷 光弘さん  
和牛繁殖経営 古谷光弘農場

三森 浩さん  
栃木県立那須高等学校



室井 愛瑠さん  
お菓子の城  
那須ハートランド

八木澤 玲玖さん  
株式会社那須旅

山田 亜由美さん  
Nail salon MONTERI

吉田 拓朗さん  
NOT A HOTEL NASU

48

那須まち人物図鑑4ができるまで

50

飛び出す人物図鑑

52

「高校と地域が共創する社会を目指して」

那須高校魅力化コーディネーター  
川瀬 史恵

53

那須高校の生徒より講師のみなさまへ  
「本当にありがとうございました」

利用してもらいたいということ  
で、勉強をしたり、おしゃべり  
をしたりするためのスペースとし  
て利用するのは無料です。ドリ  
ンク等も高校生向けの学割で利  
用することができます。また自  
由でフラットに話せる空間にする



コミュニティ・カフェ EMANON  
室長  
青砥 和希 さん  
あおと かずき

ために、ボードゲームやたくさん  
の本など色々な物がおいてあり  
ます。お店に来る人の数は、平  
日は10人ぐらいで、休日は20人  
ぐらい来るときもあります。高  
校生もたくさん利用しているの  
ことです。

カフェの庭では、高校生たちと一  
緒に畑を作っていて、夏はトマト、  
冬は大根などを収穫しています。  
様々な活動を通して高校生や若  
者とのコミュニケーションをとれる  
場所となっています。そんな中、  
高校生にも教えてもらおうこと  
もあるそうです。

青砥さんにとつての仕事のやりが  
いは、大人には分からないよう  
な、高校生や若者が感じている  
ことを共有できること、そして、  
高校生が悩みや困っていることを  
相談してくれること、と話して  
くれました。エマノンでの様々な  
活動を通して、高校生たちとつ  
ながりを持つことができたとのこ

白 河にあるコミュニティ・カフェ  
EMANON(エマノン)を運営  
している青砥和希さんについて紹介  
します。エマノンは古民家をD・Y  
して作られており、「高校生びいき」  
と宣言しているほど学生にやさしく、  
学生が集まりやすいカフェとなっ  
ています。かつてお茶屋さんだった古民  
家を借り受け、青砥さんを中心と  
した大学院生のチームと地元の高  
校生とが協力して、2016年3月4  
日にオープンしました。



(入江嘉那斗・室井那斗・佐々木愛翔)

とです。また、これからやりたいこ  
とは、最先端の研究に高校生が触れ  
る機会をつくること、高校生の声を  
実際に社会全体の仕組みに反映させ  
ることだと話してくれました。

2回目のインタビューでは、実際にエ  
マノンに伺いました。木のぬくもりが  
あり、温かな雰囲気を感じることに  
できました。また、コーヒーをこち  
そうしていただき、初めておいしいと  
思えるコーヒーと出会うことができ  
ました。私たちのような高校生が通  
える居心地の良いカフェです。今度は  
放課後にお邪魔したいと思いました。

空間作りで一番大変だったのは塗  
装で、壁の面積が広くて塗るのが  
大変だったそうです。キッチンが高  
校生と一緒にD・Yして作ってお  
り、テーブルや棚・入り口のベンチも  
一緒に手作りしています。押し入れ  
は本コーナーにしたり、天井はあえ  
て昭和のころのままを残して雰囲  
気を出したり、お店の雰囲気にあ  
わせて電気の色を考えたりと、工  
夫しています。接客は明るく楽し  
くをモットーにし、コーヒーの入れ  
方にはこだわって提供しています。  
高校生や学生の人たちにたくさん



コミュニティ・カフェ EMANON

福島県白河市本町9  
TEL/0248-21-5779

HP <https://emanon.fukushima.jp>

cafe\_emanon



HP



Instagram



ました。消防側の観点からみると火災の発生件数が増加しつつあり、住民の防災意識が問われています。予防広報や巡回等を行っていても思うように件数を減らすのが困難で、住民一人一人の火災に対する意識付けが必要となっています。また、救急車の適正利用に関して緊急性が低く、自力通院が可能な方への対応も火災予防広報と併せて行っていかないと

最後は若い世代に期待することを目指しています。災害関連のニュースや地域の防災活動に関心をもち、一人一人が大切な人を守るために率先して動けるようになってほしい。災害が起きた際、誰し



那須地区消防組合 那須消防署  
主任  
**安齋 陸** さん  
あんざいりく

那須地区消防組合那須消防署で働く安齋さんにインタビューしました。まず、仕事内容についてです。主に救急業務、消火活動、救助、予防広報、消防団の事務などをしています。その中でも主な業務は、救急活動が多いようです。那須地域消防本部管轄における火災は、一年で約二百件、救急は一万件以上発生していて、現場に行く人や事務をする人など分かれていきます。基本的には救急隊と消防隊を交替してやっています。ほかにも防災広報を道の駅や町役場、観光地で横断幕を使って行ったり、年末年始、空気の乾燥している時などに防火の呼びかけなどしたりしています。通報がないときなどは、訓練や事務処理などを行っているそうです。

消防署における現場活動の大部分がこの救急活動です。119番通報を指令センターで受信し、場所や内容を取れる範囲で聴取し、管轄署に指令を出し、その後救急隊

が現場に向かい適切に観察、処置を行い迅速に病院へ搬送します。件数が年々増え、病床数をオーバーし収容困難となるケースも少なくないと教えてくれました。

次に那須町の良いところを伺いました。那須連山から始まり、広大な山々と豊かな自然に囲まれ住民の人柄もよく、のどかで活気にあふれているところだそうです。また、知名度もあり観光客も多く、都会にはない魅力があるところも素敵などところだと語ってくれました。

次に那須地域の課題について聞き



も自分一人では生きていけないので、そんな時、若い世代の皆さんが各家庭、周辺地域の消防士になったつもりで身の回りの人を守ってあげてほしい、とのことでした。また、家族の病气、通院歴等にも今一度関心を持ち、寄り添ってあげることで、救急車が必要になった際に医療機関への連絡・搬送がスムーズになります。ほんの少しの気配りや注意で多くの生命財産を守っていくことに繋がると、いうことを教えていただきました。私たちのような若い世代の防災意識が那須町をもっと素晴らしい町にしていくのだと思いました。

(相笠 眺人・相川 航輝・金子 幸斐)



那須地区消防組合 那須消防署

栃木県那須郡那須町大字寺子乙 3967-94

TEL / 0287-72-1215 (那須消防署)

HP <https://www.fire119-nasu.jp/>



HP



福島整形外科病院  
看護師  
磯田 久美子 さん  
いそだくみこ



す。それぞれの患者さんの気持ちに寄り添うため、言葉遣いや接し方を工夫しています。

磯田さんが仕事においてやりがいを感じる瞬間は、患者さんから感謝していただいた時と、元気になった姿を見た時です。普段から患者さんの事を思い、出来る限りの努力を尽くしているからこそ、大きなやりがいになるのだと思います。同時に、磯田さんのお話を伺ったことで、看護師の仕事はものすごく大変なことが分かりました。

那須地域に関する質問もさせ



ていただきました。磯田さんが思う那須地域の良いところは、自然豊かなところですが、山やダムを見に行くことが出来るそうです。若い世代に期待することは、高齢の方とお話をする事だと思います。年齢が離れていると話す機会が少ないからこそ、お爺さんお婆さんは若い世代が話を聞いてくれると元気が出ます。また、若い世代には欠かさずに選挙に行って欲しいとの言葉をいただきました。まだ私たちに選挙権は無く、選挙についても詳しくは理解していないので、これから勉強していきたいと思います。



(相馬聖羅・相馬新羅・平山恵・吉田優奈)

今回の磯田さんへのインタビューから、看護師という職業、仕事に対する姿勢について学ぶことが出来ました。今後は今まで以上に、自分の性格や適性、得意な部分を活かせる進路選択をしようと思います。そして、磯田さんのように仕事に全力で取り組むことで、この仕事を選んだ良かったと思えるようになりたいです。那須高生として、もっともっとな須地域で働く方から多くの事を学んでいきたいと思っています。

磯田さんは、那須塩原市にある福島整形外科病院の看護師をしています。秋田県出身で、看護師になられて約40年の大ベテランの方です。磯田さんは小さい頃からお話をするのが好きで看護師になったそうです。病院では看護師の他にも、医師・薬剤師・理学療法士・レントゲン技師・麻酔医師などたくさんの方が働いています。磯田さんは毎日八時半に出勤して、まずは夜勤の看護師さんから申し送りしてもらいます。看護師という仕事は、患者さんに寄り添うことが大切です。夜勤の方から患者さんの様子や変化を引き継ぐ必要があります。看護をする上で気を付けている事のひとつに、患者さんに渡す薬を絶対に間違えないようしている

事が挙げられます。患者さんの名前や薬の量をまずは自分で確認し、最後は複数名の看護師でチェックしてから患者さんに渡すようにしています。

病状や怪我の程度はもちろん、患者さんの性格も一人一人異なります。



福島整形外科病院

栃木県那須塩原市弥生町 1-10

TEL / 0287-62-0805

HP <https://www.f-o-h.net>



HP



伊藤さんが物作りに触れるようになったきっかけは、東京のカフェでアルバイトをしているときに、お客さんからデザインの仕事の誘いがあったことからだそうです。そこから事務所に入り、最初はグラフィックデザイナーとして活動していましたが、今は染め花の作家業を行なっています。自分で花の観察をし、独学で始めた



そうです。とても細かい作業で、半年の時間をかけて制作する作品もあるそうです。思ったような作品に仕上がらなかつた際は、うまくいくまで何回も作り直すとのことでした。

那須地域の良いところについて何うと、自然が多く存在する点だと答えてくれました。自然と触れ合っていると、リラックスやリフレッシュができるため、自然が豊かな那須は魅力的だと仰っていました。那須の良さを多くの人に知ってもらうために、様々な地域から人が来るようになれば良いとの意見をいただきました。

自分たちのような若い世代への



(和氣虎洗・渡辺歩斗・渡邊瑠音)

メッセージとして、興味があるものや、やりたいことに取り組んで欲しい。昔からの良い文化・伝統を無くすことなく、地元を盛り上げる活動が必要で、自分が何をしたいのかをしっかりと考え、自分らしさをもって生活をして欲しいと仰っていました。

今回のインタビューを通して、少しでも興味があることを広げるためにいろいろな経験をしてみようと思えました。これからは私たちも那須町の自然や文化、伝統などをよりたくさんの人に広めていきたいと思いました。

TURBO  
代表  
伊藤 貴之 さん  
いとう たかゆき



伊藤 貴之さんは、那須町の湯本にある「TURBO」のオーナーで、ヨーロッパ古着や雑貨の買い付け・販売をしています。また、布を染めて花を作る「染め花」の作家業もしています。そんな伊藤さんに様々なことをインタビュー！真剣に質問に答えてくださいました。

「TURBO」という店名の由来は、以前伊藤さんが「ターボ」と呼ばれていたことからです。さらに、「TURBO」と言う単語はそれだけでは成り立たない言葉で、お店も一人では成り立たず、お客さんと共にお店が成り立っていくという意味も込められているそうです。

伊藤さんは年に2、3回オランダへ行き、2週間程度滞在し、フリマショップなどで買い付けをしているとのことでした。買い付けをする上で意識していることは、しっかりと目で品物を見て買うこと、どんな品物をお客さんが喜んでくれるかを考えながら買い付けをすること



だそうです。伊藤さんはお客さんの笑顔や喜ぶ姿が仕事のやりがいになっていると仰っていました。真剣に品物を選ぶことが、そのやりがいに繋がっていると感じました。お店を経営する上で難しいことは、値段をつけることだそうです。価値観は人それぞれで、自分が良いものだと思っても他の人が良いと思うとは限らないので、値段の決定はとても難しいと仰っていました。自分の価値観とお客さんの価値観の違いを意識した上で、品物の魅力を伝えるのは容易ではないと想像できました。



TURBO

栃木県那須郡那須町湯本 206

TEL / 0287-76-3152

HP <https://turbo15.com/>



HP

す。トレーナーの方は、鳥を受け止める時の腕の角度や、鳥を飛び立たせる時の腕の振り方など様々なトレーニングが必要です。そのため最初は風船でバランスをとる練習をするそうです。そうしたトレーニングを重ね、人前でショーができるようになるまでアシスタントで半年〜1年、メイ



那須どうぶつ王国  
金澤蓮さん  
かなざわれん



ンMCで1年半〜2年かかるそうで、金澤さんはメインMCとしてデビューしたそうです。那須地域の良いところを金澤さんに聞いてみました。自然が豊かで景色が綺麗なことだと答えてくれました。動物が大好きなので、自然が豊かだと動物がたくさんいるところが良いとのことでした。反対に、改善点については、高校生の立場で考えると遊ぶ場所がないことや、町に活気がないことだとおっしゃっていました。中学生や高校生が色々な体

金澤蓮さんにインタビューさせていただきました。一回目のインタビューは、金澤蓮さんが学校に来てくださり沢山の質問をさせていただきますました。二回目のインタビューでは私たちが実際に金澤蓮さんの職場にお邪魔させていただきました、働いている姿を見ることでより深掘りした質問をすることができました。金澤さんは、那須どうぶつ王国で働いています。主な仕事内容はパードショーです。ショーを成功させるため、毎日たくさん練習しているそうです。パードショーとは、お客さんたちのすぐ近くを鳥が飛んで行ったり、実際にお客さんが鳥を腕に乗せたりして楽しむショーのことです。私たちも実際にパードショーを見させていただいたので、少し鳥の紹介をしたいと思います。まず、ダルマワシです。



迫力のある顔で少し怖かったです。次はミミズクです。羽の音が静かで、大きな耳が印象的でした。次はタカです。飛ぶスピードが速く、格好良かったです。腕に乗せる体験ができました。最後にハクトウワシです。とても大きく、獲物を足で捕まえるところが格好良かったです。鳥のトレーニングは5〜15分ほどで腕から腕へ飛ぶ練習をしています。時間が決まっているのはなぜかと伺ったところ、鳥の集中力は長くは持たないので、できるだけ早く長引かせないようにしているそうです。

験をできる施設やその施設まで行けるバス、地域で協力して楽しいことを学生さんたちに広める必要があるとのことでした。

今回の金澤さんのインタビューを通して、仕事や那須町についてもっと考えていかなければならないと思います。実際にパードショーやその準備を見せていただいたことで、お客さんへの気遣いや準備の大切さを学ぶことが出来ました。また、どうぶつ王国への興味が深まりました。那須町の方や那須町以外の方にも、もっと那須どうぶつ王国に来てもらいたいと思います。



(神長 楓・米武 悠人・松山 光輝)

那須どうぶつ王国

栃木県那須郡那須町大島 1042-1  
TEL/ 0287-77-1110

HP <https://nasu-oukoku.com>

Instagram [nasu\\_animal\\_kingdom](https://www.instagram.com/nasu_animal_kingdom)



HP



Instagram

那須野農業協同組合 那須支店  
金子 紗花 さん  
かねこしあな



那須地域の良いところについて  
いました。景色が良いところや、  
観光スポットがあるところ、さら  
にカフェが多いところを挙げられ  
ました。他の地域に憧れること  
はないかという質問には、特に憧  
れはないが他の地域へ行く機会が  
あったら、一から始めるのが不安  
だと答えていただきました。私  
たちはまだ他の地域に行く機会  
は少ないですが、金子さんのよう



**金** 子紗花さんは那須野農業協  
同組合で働いています。仕事  
内容は入出金管理、その他にはお  
客様の受付や仕事での提案などを  
しています。お金を扱う際は、1  
円のずれも許されないので、自らの  
手や機械を使う中で細心の注意を  
払っています。この仕事に就いた理  
由は那須町で働きたいと思ってい  
ただけです。那須町の仕事につ  
いて調べていく中で、農協の仕事に  
ついて興味をもち、金子さんも農  
協の一員として働きたいと思いこの  
仕事に就きました。就職して1年  
目は覚えなないといけない事がたく  
さんあり、とても大変だったそうです。  
研修や試験を通して知識が身に付  
いたそうです。



に挑戦心がある方でも新しい環  
境は少し不安だということを知  
ることが出来て安心しました。

金子さんが那須高生に伝えたい  
ことは、色々なことに挑戦する  
ことです。生徒会やボランティア  
活動など、どんな事でも取り組  
んで欲しいとのことでした。そし  
て、那須高生として生活する中  
で、これからの未来へ発信する考  
えを持って欲しいとお言葉をい  
たされました。

ンを取ります。その方に合った話し  
方を見極め、細やかな気配りをす  
るように心がけています。色々なこ  
とを経験し、挑戦できるので、働  
いて良かったなと思えるそうで  
す。仕事で疲れた時は友人と遊ん  
だり、動画を見たりしてリフレッシュ  
するそうです。



今回のインタビューにおいて最初は緊  
張していましたが、金子さんに明る  
く接していただいたので緊張がほぐ  
れました。良い雰囲気を作っていた  
だけ、インタビューしやすくとても助  
かりました。インタビュー内容以外に  
も、世間話や好きなもの話などが続  
きとても良い時間を過ごすことが出  
来ました。金子さんは、現在は周り  
の人に助けられているので、いつかは  
自分が周りのことを助けられるよう  
にしたいとおっしゃっていました。私  
たちも金子さんのように、様々なこ  
とにチャレンジして、多くの人とコミュ  
ニケーションを取って仕事に打ち込め  
るよう頑張っていきたいです。

(笑) 菜・山本佳汰・深澤あかり



那須野農業協同組合 那須支店

栃木県那須郡那須町大字寺子丙 4-20

TEL / 0287-72-6111

HP <http://www.janasuno.or.jp/>



HP

を見学させてもらいました。実際の映像を見せていただきましたながら、食堂や駐車場、廊下などを見学することができ、貴重な体験をさせていただきました。また、普段は見られないキッチンの中や冷蔵庫などを見学したり、撮影の裏話を聞くことができました。



NPO法人  
那須フィルム・コミッション  
真山 えみり さん  
さなやま えみり



那須地域の良いところを聞いてみると、豊かな自然・魅力ある観光・強い地域のつながり、の3点をあげてくださいました。真山さんは、きれいな風景を見て日々癒されているそうです。

一方で、那須で暮らす若者が減っているのが、暮らしやすく楽しめる環境を作り、若者が増えてくれると嬉しいとのこと。また、歩道が少なく、歩行者が危ないことが改善点だと教えてもらいました。

インタビューはとても緊張しましたが、真山さんのおかげでスムー



真山 えみりさんは、那須町出身・在住で那須フィルム・コミッションのお仕事をされています。また、お子さんがおり、子育てをしながらお仕事を両立されています。

初めに、真山さんの仕事内容から紹介させていただきます。那須フィルム・コミッションは、那須地域での映画、テレビ、CMなどのロケーション撮影がスムーズに行えるように、地域の情報提供やロケーションハンティング対応など、映像制作者を支援する活動をしています。また国内外からの映像制作を那須へ誘致し、撮影を通じて、那須の魅力を



知っていたいくことを目標にしています。その他、今年で20周年を迎える「那須ショートフィルムフェスティバル」を主催。那須に暮らす人も那須を訪れる人も楽しめる映画祭を目指し、また若いクリエイターの作品発表の場を支援するため、那須短編映画賞「那須アワード」への応募作品を上映しています。

2回目のインタビューは実際に撮影で使われたサッポロビール那須工場



ズに進めることができました。また、私たちが聞きなれないお仕事の内容が聞けて知識をつけることにも繋がりました。最初は、インタビューを上手く出来るかとても心配でした。しかし、真山さんは私たちに笑顔でとても分かりやすく教えてくださったので、那須フィルム・コミッションのことについて深く知ることができました。映画などで使われていた現場を見て、すごく身近に感じました。真山さんはとてもお仕事に真剣でその思いがインタビューを通じて伝わってきました。今後も那須の魅力をたくさんの人に伝えていってほしいです。

(佐藤 権斗・田崎 優仁・前田 希愛・松本 歩梨)



NPO法人 那須フィルム・コミッション

栃木県那須郡那須町高久乙861-41 薊の里2109  
TEL / 0287-74-3767

HP <https://nasu-fc.com/>  
Instagram [nasufilmcommission](https://www.instagram.com/nasufilmcommission)



HP



Instagram



HP

那須ショートフィルムフェスティバル

HP <https://filmfest.nasu-fc.com>

高校生に期待していることは、高校生のうちは、いろいろなものに興味をもち、好奇心や探求心があると思うので、たくさんの人とコミュニケーションをとり、様々なことを経験し、いろいろな考え方があることを知ってほしいということでした。そして、怖がらずに自分の考えをいろんな人に話してほしいとおっしゃっていました。また、コミュニケーション

若い世代やお年寄りの方が元気に過ごすために、この町の歴史や自然環境を活かしていい町を作ってほしいと話していました。



株式会社白井石材  
白井克典 さん  
しらいしかつり



白井克典さんは株式会社白井石材で働いています。白井石材は、自社採掘の芦野石などのオリジナル石材製品を中心に扱ひ、建築から造園土木、モニュメントや墓石材料まで、幅広い分野に対応しています。『那須・芦野 石の美術館』の運営もしています。

白井さんが仕事をするうえで意識していることは、お客様が求めていることを理解し、作ってほしいものを考えること。そして、求めている以上のもの作り、その暮らしを作っていきたくそうです。客観的な視点を持って取り組み、答えを探す事で要望に応えていきます。石をただ販売するだけではなく、魅力をどうお客様にみせるのかを特に意識しているそうです。

仕事をしていて嬉しいこと・楽しいことは、目的が達成できたときと、お客様に「あ

をとる際には、思いやりをもち、相手のことを気にかけることをアドバイスしていただきました。

白井さんの夢は何かを聞いたところ、家族が幸せに暮らしていくことだとおっしゃっていました。他にも、地域の魅力的な価値をたくさんの人に知ってもらって、長く営業することが夢だそうです。

石の美術館作りで良かったことは、いろいろなジャンルの方々が集まって作られたことだそうです。経営して良かったことは、アーティストやピアニスト、雑誌の撮影、カフェなどいろいろな形で活用ができ、どこにもない場所となったことだそうです。

人物図鑑のインタビューは初めてだったので緊張しましたが、白井石材を初めて知り、とても興味がわきました。お客様が求めているものや暮らしやすさを重視し働く白井さんのようにこれからも頑張っていきたいです。

(加藤詩音・君島蒼空・赤羽琉碧)



りがとう」と言ってもらえたときだそうです。他にも、色々な物を見に行ったり聞いたりして新しいことを知った時に楽しい気持ちになるとおっしゃっていました。

那須地域の良いところは、田舎ではあるが、東京にも行きやすいところと、自然が豊かなところも魅力だと思います。課題は、若い世代が少ないこととおっしゃっていました。

株式会社白井石材

栃木県那須郡那須町寄居406  
TEL / 0287-74-0606

HP <http://www.shirai-ishi.com/>  
HP <https://stonemuseum.jp/>



白井石材  
HP



那須・芦野  
石の美術館  
HP

Life is Beautiful  
オーナー  
杉森 龍之介 さん  
すぎもりりゅうのすけ



杉森さんは大田原市の「Life is Beautiful」というメンズヘアサロンでオーナースタイリストとして活躍されています。美容師を目指したきっかけは、小さい頃から自分の髪を切ることが好きで、高校三年生の夏休みの時に専門学校に行こうと思ったことからだそうです。

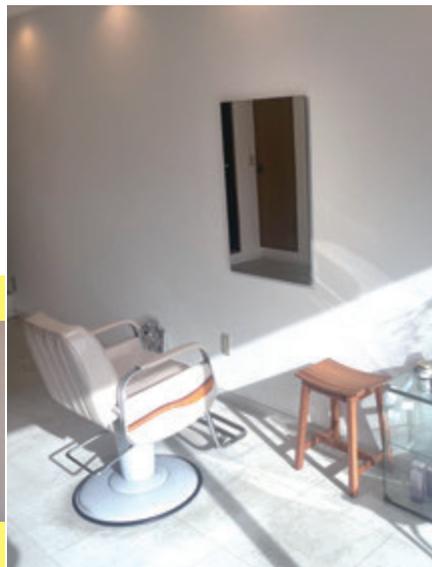
その後、アシスタントからスタイリストに移行するまで、6〜7年かけて修行されました。覚えることがたくさんで、カット練習が大変でしたが諦めず頑張ったそうです。

サロンの強みは、予約制の完全なプライベートサロンという点です。なんと店内のセッティングは1席のみ！プライベートな空間で、お客さんと1対1で理想のヘアスタイルを叶えてもらえます！お店のこだわりは、しっかりとお客さんと向き合うことで、リラックスできる環境にしてい

るところです。お香を焚いて、香りも意識しているそうです。

一日の仕事の流れについて伺ってみました。起床は朝8時です。お店は10時にスタートしますが、9時までは開店準備を済ませるそうです。開店後は、お客さんとコミュニケーションを取りながらカットをします。1対1の空間なので、距離が近く、表情を感じ取りやすいとのことでした。仕事終わりは21時で、0時には就寝します。

仕事をしている中でやりがいを感じるるときは、お客さんが喜ぶ姿を見



た時です。お客さんに満足してもらうために考えられたスペースの中でのお客さんの笑顔は格別なのだと思えます。私たちも働き始めたら精一杯仕事に取り組みもうという意識が湧きました。

ヘアサロン以外にも興味があり、野球やサッカースポーツ観戦が好きで、今後スポーツを観戦できるバーを作りたいとも考えているそうです。

今回インタビューは初めてだったのでとても緊張していましたが、杉森さんが優しく笑顔で答えてくれたので、私たちもたくさん質問することが出来ました。

杉森さんはもともと人と接するのが苦手でしたが、スタイリストを目指し始めてから人と関わるのが多くなり、少しずつコミュニケーションスキルを磨いていったそうです。私たちも少しずつこ

ういった場になって、多くの人とコミュニケーションが取れるようにしたいです。

最後に、インタビューでお店にお邪魔した際、髪のカットまでしていただいた杉森さんにも感謝していただき、とてもいい機会になりました。私たちが思っている以上に一人前のスタイリストになるまで時間がかかり、とても大変だということがわかりました。将来仕事に就いた時には、まずは自分が出来る限りの事に取り組みんでいこうと思えました。

(小林 夢羽・添田 花音・桑 友希)



Life is Beautiful

栃木県大田原市山の手1-12-17 シャトーレザンジュ 101  
TEL / 0287-53-7024

HP <https://beauty.hotpepper.jp/slnH000500134/>



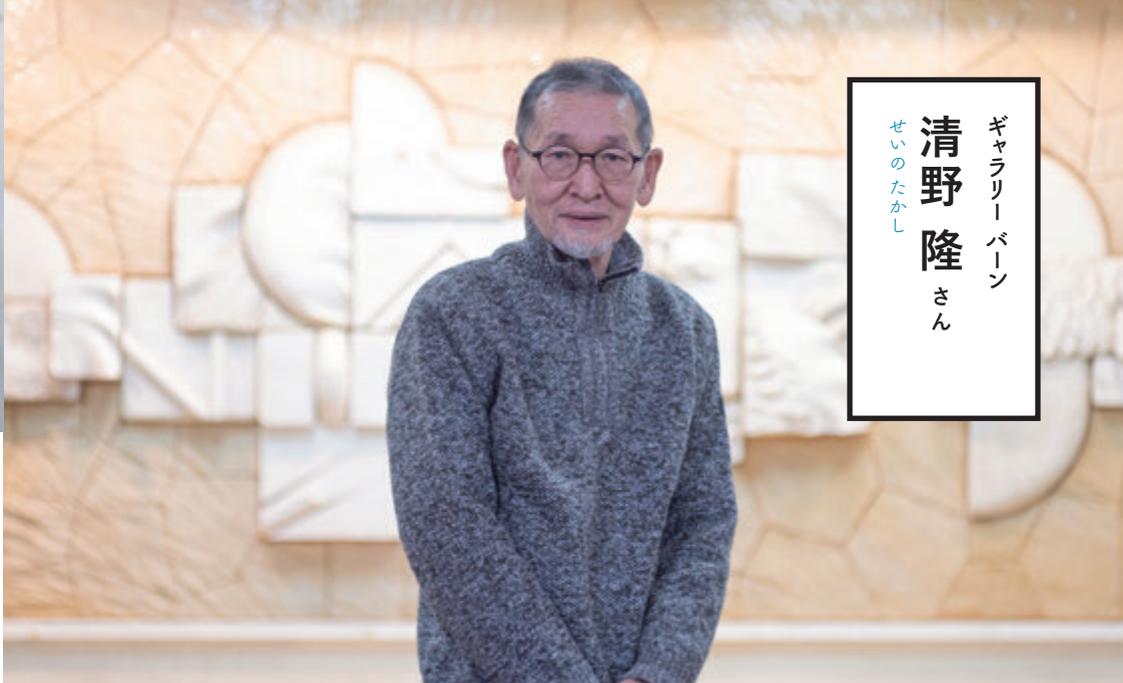
HOT PEPPER



展示されていて、彫刻や歯車を回すと一部が動くアート、ハンディキャップをもった方が描いたアートなどがありました。作品の内容も様々で、アートというと華やかなものというイメージでしたが、戦争に関する絵もあるなど、作者の方が作品から伝えたかったことが何か考えながら見ていました。



ギャラリーバーン  
清野隆さん  
せいのかかし



清野さんは那須塩原市にアートギャラリーであるギャラリーバーンを開設された方です。ギャラリーバーンは絵画や彫刻、写真や工芸など幅広いアート作品の展示会場として使用できるレンタルスペースです。清野さんは福島県の会津地方出身で、40年以上前に栃木県に移住してきました。

ギャラリーバーンを開設したきっかけは、当時那須町には絵画などのアート作品を展示できる場所や、地域の方とコミュニケーションを取ることのできる場所がどこにも無かったからだそうです。清野さんご自身も絵が趣味です。絵を好きになった理由は、生まれながらにハンディキャップを抱えている娘さんが、小



学生の時に描かれた絵を見て衝撃を受けたからだそうです。そこから、自分も絵を描いて色々な人に見てもらいたいと思うようになりました。

ギャラリーバーンでは、主に地域の方が制作した作品が展示されています。作品の展示以外にも、近隣の小中学生や住民の方を招いて音楽コンサートを開くこともあるそうです。私たちもギャラリーバーンに実際にお邪魔させていただきました。展示作品を拜見しました。普段あまりアート作品を見る機会はないので、多くの作品が並ぶスペースに心が躍りました。多種多様な作品が

ギャラリーの入場料はなんと無料です。皆さんもぜひギャラリーバーンに足を運んで、身近なアート作品に触れてみてください。素敵な作品がたくさん並んでいます。実際に行ってみたら私たちが言うのだから間違いありません！

今回の活動を通して、那須地域やギャラリーバーンを盛り上げる方法が何かないか考えてみました。那須高校の授業では、美術は選択科目になっていて全員が履修する科目ではありません。しかし、美術部が存在し、美術

部員以外の周りのクラスメイトの中にも絵を描くことが好きな生徒はたくさんいます。文化祭では段ボールで工作してお客さんに楽しんでもらうアトラクションを作っているクラスもありました。他の人に自分の絵や作品を見てもらおうのは恥ずかしいと思う生徒もいるとは思いますが、那須地域やギャラリーバーンを通して那須高生が作った作品を展示する機会があれば、清野さんのように多くの人に自分の作品を見てもらいたいと思うようになるかもしれません。その結果、自然とアートの町としてもっと多くの方が那須に来てくれるようになると思います。

(薄葉龍樹・岡本謙信・山上月)



ギャラリーバーン  
栃木県那須塩原市小結 88-197  
TEL / 0287-72-5347



HP

HP <http://www.barn.jp/>



には友吉さんの作品力も影響するので、結果が出なかったときは責任を感じてしまうのかもしれない。辛い時は一人で抱え込まずに、家族やダンススタジオの代表の方に話をして意見をもらい乗り越えたそうです。

ダンス関係で最も緊張した時にっ

いても何いました。小学6年生で出場した全国大会決勝と、バックダンサーオーディションでのフリーダンスの2つを挙げられました。その緊張を乗り越えてから、緊張を楽しみに変えるメンタルを持つようになり、入試の面接など人生の大きな場面で役に立っただそうです。また、高校生の時には英語スピーチに挑戦して県大会まで出場したとのこと。英語の勉強をした経験がダンスに合った洋楽を選ぶ際に役に立っているそうです。私たちは緊張して上手く話せない時がありますが、



**友吉**さんは Dream Treasure Dance Studio というダンススクールでインストラクターをされています。ダンス歴は長く、友人からの誘いをきっかけに小学校2年生からダンスを始め、有名なアーティストのバックダンサーを務めるなど様々な経験を積まれています。現在も全国大会で優勝するなど、非常に大きな活躍をされています。インストラクターになったきっかけは、所属していたダンスチームの先生からの「ダンス教えてみない？」との言葉だったそうです。

仕事内容は、ダンス指導、振付、構成、音源、照明作成、衣装決めと多岐に渡ります。たくさんジャンルのダンスがあり、友吉さんはその中でもジャズヒップホップを教えているそうです。ジャズヒップホップはその言葉の通りジャズダンスとヒップホップダンスを掛け合わせダンスです。ジャズヒップホップの難しいところは、力強い動きとしなやかな動きのバランスをとることだそうです。

緊張に打ち勝ち良いパフォーマンスを發揮できるよう、友吉さんのようにたくさんの方にチャレンジしたいです。

友吉さんが若い世代に伝えたい事は、「好きなことを仕事にする」ということです。好きなダンスを仕事にした結果、楽しく仕事をしている自分がいると友吉さんは話してくれました。友吉さんの今後の目標は、ダンスの世界大会で優勝をして、自分の振付をもっと多くの人に届けることです。

私たちも好きなことを見つけて、好きなことに目いっぱい取り組んで、多くの人の役に立てるような仕事をこれから探していきたいです。

(須藤晏那・山崎樺恋・横山晶樹)



ダンス指導、振付をする上で大切にしていることは、流行にのみ込まれずに自分の個性を生かすことです。笑顔絶やさず、生徒と保護者の方に心配をかけないよう、言葉遣いを大切にしているそうです。

仕事をしていて辛い場面は、コメントで教え子の評価が振るわなかった時だそうです。ダンスの技術評価

Dream Treasure ☆ Dance Studio

栃木県那須塩原市上大塚新田 69  
TEL / 0287-74-6278

📷 cocoa\_mochigyozu (個人)  
📷 dtlds\_official (スタジオ)



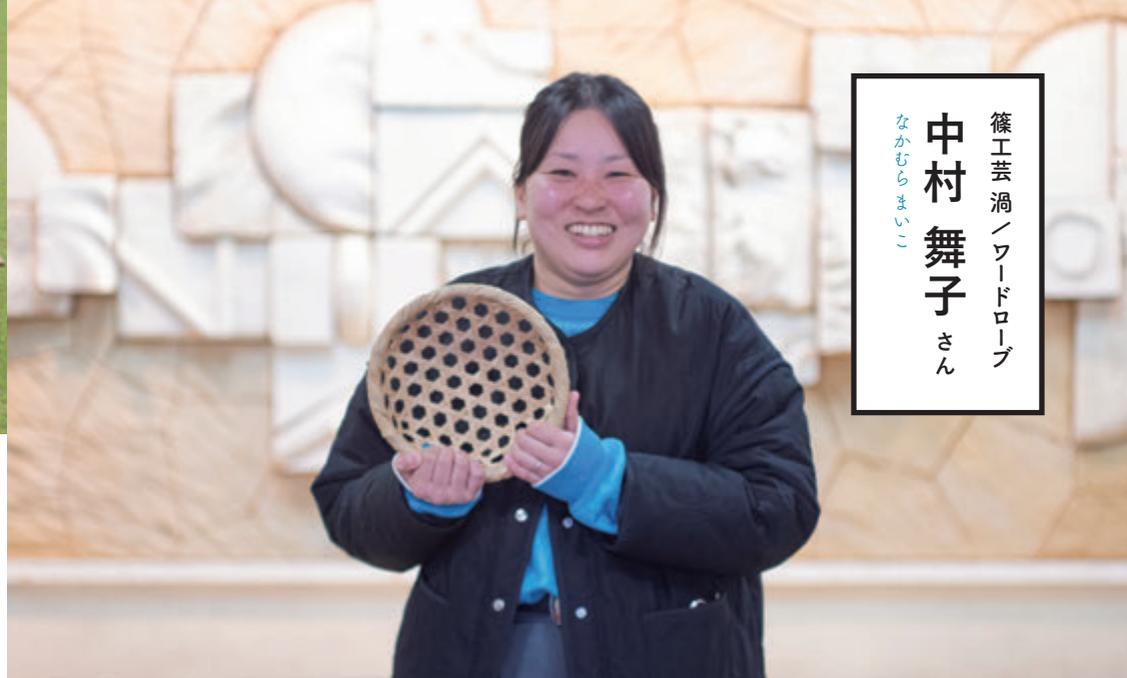
Instagram  
個人



Instagram  
スタジオ



篠工芸 渦ノワードローブ  
中村 舞子 さん  
なかもらい



分けることや、お客様から使いやすさと言ってもらえること、篠工芸の魅力を広められること、歴史的で自分が次世代に繋げられることです。

理想の暮らしについて伺ってみたところ、今が一番理想の暮らし



とおっしゃっていました。中村さんの今の暮らしは、春や夏などの暖かい時期には、ワードローブの仕事で全国を回り、秋や冬といった寒い時期には、那須に籠り篠工芸をするなどメリハリがついているそうです。今まで一番辛かった時期は、スタイリストのアシスタントをしていた時期で、この時は、早朝に日の出の撮影を



中村舞子さんは「篠工芸 渦」という屋号で、篠という植物を使い、笊や籠の製作をしています。中村さんは埼玉県出身で、9年前に那須町に移住してきました。那須町を選んだ理由は、家族が那須町が好きで、毎年よく来ていて土地勘もあったからだそうです。地域おこし協力隊の仕事の募集があったことも理由のひとつだそうです。

アーティストと全国を回りながら、公演での着せ付けや衣装管理を行うことです。

篠工芸の主な仕事内容は、台所などで日常的に使える笊や籠の製作です。篠という植物は、まだ正確な情報が少ないのですが、栃木県那須地域に自生していて長さ2〜3メートルになる笹の仲間です。篠とは総称であり、地域によって指す植物が違うそうです。篠工芸渦で使っている「東根笹」は細くしなやかで、弾力があることを特徴としています。篠を刈るところから材料を作るまで約半年、作った材料で編むのが約1〜2日かかります。すべて一人で重機などの機械なしで製作をしているそうです。

製作するにあたってのこだわりは、日常で使い易く丈夫に作るということです。丁寧な扱いは勿論ですが、道具として長く使えるように意識して作っています。やりがいや誇りは、技術の向上が目に見えて

するなど時間が定まらず、寝る間も惜しんで仕事をしていました。ですが、自分が関わった作品をテレビなどで見ることができると、誇りに思うことができ、仕事を続けられたそうです。

最後に、私たち那須高生を含め、若い世代に期待することをお聞きしたところ、何か夢中になるものを作ってもらいたいとおっしゃっていました。そのためには、無理やりでも構わないからやると決めて続けることが大切だそうです。私たちも中村さんのように、自分の得意なものや好きなことを見つけて、楽しいと思えるような人生を送っていきたいと思いました。

(佐々木 瑚夏・佐藤 泉水・鈴木 心菜)



篠工芸 渦

uzu.nasushino



Instagram

知らなかったのですが、全国各地のお寺や神社に置いてあるそうです。  
仕事についていくつか質問させていただきました。神社関係の仕事に就くには、専門の大学に行く場合もあるようですが、特別な用意をする必要は無いようです。普段の仕事でどの様な事を意識されているのか伺ってみました。言葉遣いや接し方、神社の良さを



那須温泉神社  
人見 圭祐 さん  
ひとみけいすけ



**那** 須温泉神社の神職である人見圭祐さんにインタビューをさせていただきました。温泉は「おんせん」ではなく、「ゆぜん」と読むそうです。神社の鳥居からは見晴らしの良い景色が広がります。近くに殺生石や温泉があり、硫黄の匂いがしました。

那須温泉神社が創建されたのは約千四百年前です。その昔、狩野三郎行広という人が狩りで鹿を追って山へ入った際、山中に湧く温泉を発見しました。温泉発見に感謝し、祠を建てたのが温泉神社の始まりだと伝えられています。また、屋島の戦いで扇的を射って名声を上げたことで知られる那須与一が祈願した神社であり、那須町の歴史とも深く関わっています。階段の一段一段に、たくさんの方の名前が書いてありました。那須温泉神社は那須の人々の想いが

詰まっているのだなと実感できました。

他にも、樹齢800年を超える巨大なミズナラのご神木がありました。ミズナラには活力・蘇生力・生命力などのパワーが宿るとして崇められています。なかなか見ることの出来ない大きさの木で、びっくりしました。ざざれ石が境内に設置されていることにも驚きました。ざざれ石は皆さんご存じの通り、国歌に歌われている石です。私たちは



知ってもらうことを意識していると答えていただきました。色々な人に接する機会が多い仕事であるため、社会問題やニュースをよくチェックするそうです。最近だと、殺生石が割れてしまった件について話されていました。また、たくさんの方の人と関われることは仕事の楽しみでもあるそうです。

ただ、勉強になりました。実際にお祓いをしていただくことになり、初めての事で緊張しましたが、身が清まる思いでした。  
今回のインタビューを通して、普段なかなか知る機会の無い仕事風景を知ることが出来ました。最後に「お守りを一人一つずついただきました。とても嬉しかったです。今後の人生の中でこのお守りを見たときには、今回の経験を思い出して、仕事や勉強に生かしていきたいです。」

(織田海人・織田空我・小松終耶)



那須温泉神社

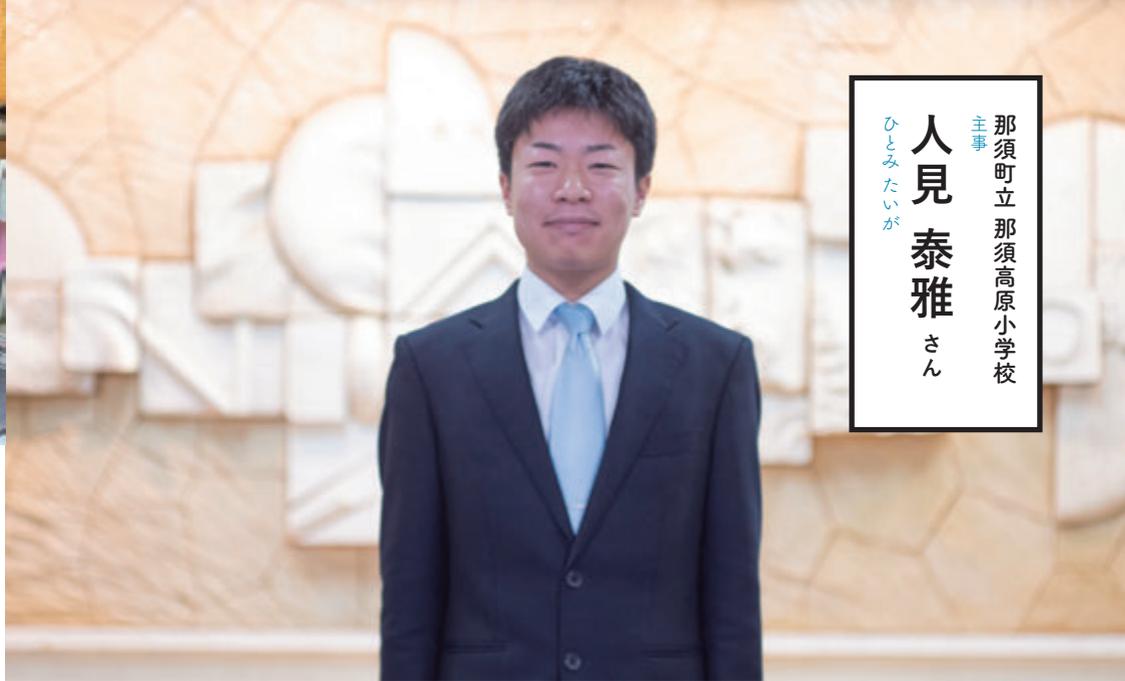
栃木県那須郡那須町湯本182  
TEL / 0287-76-2306

HP <https://nasu-yuzen.jp/>



HP

那須町立那須高原小学校  
主事  
人見 泰雅 さん  
ひとみ たいが



も感じているそうです。一方で、車がないと移動が大変など交通の便の悪さが那須の課題だと教えていただきました。

今後、那須地域が良くなっていくためにはどうしたらいいかと聞いたところ、那須出身の若者がそのまま那須に残り、観光業を支え

人見泰雅さんは、那須町立那須高原小学校で事務職員をしています。人見さんが事務職員を選んだ理由は、親戚に勧められたことや、学校事務の仕事内容に興味があったからだそうです。主な仕事は、書類作成や情報収集などをされています。3月から6月にかけてが卒業式や入学式で一番忙しい時期だそうです。

人見さんが仕事で心掛けていることは、教員・保護者・地域の人達との関係を悪くしないようにすることだそうです。そのためにコミュニケーションがとても大事だとおっしゃっていました。できるだけフレンドリーに話すことを心がけていますが、校長、教頭、教務主任の先生方と話すときには言葉遣いなど特に意識して話しているそうです。

人見さんは立場関係なく、積極的にコミュニケーションをとり、良好な関係を築くことを意識しています。また、職場内だけでなく地域の方々のコミュニケーションも大切にして

います。ほかに事務委職員としての仕事である書類作成を素早くかつ丁寧に作業するという心を心がけています。

那須地域の良いところを伺うと、小中学校は人数が少ないので先生と生徒の距離が近く、また地域の方々と触れ合う機会もあるところだとおっしゃっていました。実際に、働きはじめて、生徒、先生、地域の方々(保護者)の仲の良さをとて



ることが課題解決につながるのではないかとおっしゃっていました。

最後に、高校生に期待すること、アドバイスを伺いました。人見さんは周りの人たちと仲良くできるような力をつけて、社会性を身につけること、支えてくれる家族に感謝をし、親孝行をしてほしいとおっしゃっていました。

今回、2回目のインタビューでは実際に那須町立那須高原小学校に行きインタビューさせていただきました

きました。人見さんの優しい人柄で喋りやすい雰囲気などを作ってくださり、インタビューがしやすかったです。人見さんが仕事をされる上で大切に行っていることや努力家だということがわかりました。

今回のインタビューで小学校の事や、事務作業の内容を教えてください。いろいろな事を学びました。人見さんはすごく良い人だったので楽しくインタビューをすることができ、今後の進路選択において、とても良い経験になりました。

(井上陽大・梶原椋馬・渡邊雄惺)



那須町立 那須高原小学校

栃木県那須郡那須町高久丙 1482

TEL / 0287-76-2491

HP <https://nasukougen.edumap.jp/>



HP



るといふ二点を挙げられました。仕事とプライベートな時間にどちらも打ち込むことの出来る良い環境だと思いました。

那須地域に関する質問もさせていただきました。まずは那須地域の良いところを伺いました。豊かな自然や、牛を飼える敷地があることは凄

く良いと答えていただきました。自然が多く綺麗なのが那須地域の第一印象だと私たちも思います。また、那須高生を含めた若い人へ期待することを伺いました。和牛繁殖業の私たちは高齢化しつつあるので、受け継いでくれる人が増えて欲しいとおっしゃっていました。少子高齢化が進む日本の現状により人手不足になり

やすいこと改めて実感しました。

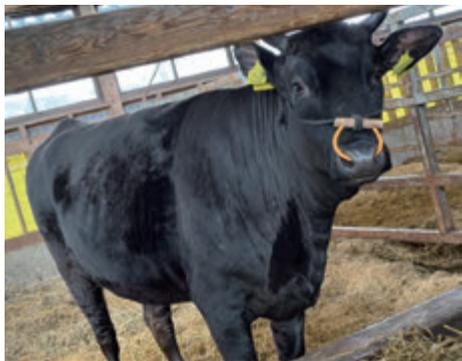
最後に今後の目標について古谷さんに伺いました。「美味しいと思えるお肉を提供し続けたい」、「こだわりを貫き通したい」と力強い言葉をいただきました。こだわりに対する熱い思いと、今後をしっかりと見据えた目標で感動しました。

今回の活動で、和牛繁殖経営について詳しく



(大沼ユキ・酒井心寧・鈴木璃音・大森羽菜・植木希心)

知ることが出来ました。那須校生である私たちや、那須町の方たち、那須町以外の方たちにもっと知っていただきたいと心から思いました。皆さんもこれを機に興味をもっていただければ幸いです。



和牛繁殖経営 古谷光弘農場  
ふるやみつひろ  
古谷光弘さん



**今** 回私たちが紹介するのは、和牛繁殖経営をしている古谷光弘さんです。古谷さんは那須塩原市出身で、現在、JAなすの和牛部会に所属しています。もともと祖父がこの仕事をされていて、手伝いをしてい中で継ぎたいという気持ちが生まれたそうです。普段あまり知ることでできない和牛繁殖業を詳しく知るために、様々なことをインタビューさせていただきました。

古谷さんが行う和牛繁殖業は、雌牛に仔牛を産んでもらい、その仔牛を育てて出荷をする仕事を中心だそうです。生まれてきた仔牛は十か月程度飼育します。餌やり、牛の寝床掃除、牧草の収穫、牛の手入れ、お産の対応など毎日様々な作業があるそうです。親牛より仔牛の方が風邪をひきやすく、薬を多めに敷いたり、牛用のベストやネックウォーマーを付けたりするなど、牛の細かい体調管理の方法も知ることが出来ました。

和牛繁殖業のやりがいは、「和牛らしさ」と「質の良さ」にこだわり、結果が全て自分の仕事次第なところ、やった分だけ良い結果が出るところだと教えていただきました。古谷さんのような方たちのおかげで、私たちもおいしいお肉を食べられるのだと実感できました。

和牛繁殖業のメリットについても伺いました。時間の使い方が自由なこと、ストレス無くのびのび出来る



栃木県立 那須高等学校

公仕

三森 浩 さん  
みもりひろし



たり、校舎の半分程ある木をま  
るできのこのように綺麗に整え  
たり、まあまあ大きい木の枝を  
鉛筆のようにカットして杭をつ  
り、その杭を頑丈な柵の一部と  
して使用し落ち葉などを集めるた  
めの場所を作ったり、校庭に除  
草剤をまいて校庭の草をなくし  
たり、ここでは説明しきれない  
くらい沢山のことをしてくださ  
っています。

その他には校内の中庭や、  
学校に無数にある花壇に  
季節の植物を植えて校内  
をいつも華やかで明るい過



それ以外にも家庭クラ  
ブ役員が学校祭で販売するた  
めに白菜や大根を育てるとき  
に立派に育つように土壌を整え  
るなどのお手伝いをしてくださ  
り、私達が学校で生活をする上  
で安全に過ごせるように危ない  
ところの点検や、校内に3つあ  
る貯水槽の点検をしてくれてい  
ます。

三森さんがいつも学校を綺麗にし

「ごしやすい環境にして  
くれています。特に足  
利フラワーパークなど  
で秋ごろに見ることが  
できる、アメジストセー  
ジという紫色の小さい  
花をたくさん咲かせる  
植物がお気に入りです。」

那 須高校で公仕の仕事をしてい  
る三森浩さんにインタビュー  
しました。

三森さんは元々、エアコンのダクト  
製作のお仕事をしていました。です  
があるとき腰を痛めて天井から出  
てこられなくなりました。「この  
まま仕事を続けるのは難しい」と判  
断し退職されたそうです。その  
後、県の職員になるために1日に  
12時間も勉強をし、無事試験に合  
格して、県の職員の公仕として働  
き始めたそうです。

まず初めに、三森さんが普段行っ  
ている公仕の仕事内容を簡単に説  
明します。それは那須高校の環境  
の整備です。具体的には屋根の上  
や校門の周りに落ちた枯葉の掃除、  
歪になってしまった木の枝の剪定、  
季節にあった様々な植物を植える  
など多岐にわたります。その他の  
仕事は、使っていないサッカーゴール  
で避難小屋を作ったり、部活動で  
使っているピブスが雨に濡れないよ

てくれたり点検してくれたりするの  
は、人の役に立つことが好きで生徒  
の笑顔を見たり、元気な声を聞く  
と疲れがとれるからおっしゃって  
います。

今回のインタビューを通して、普  
段三森さんがどのような仕事をして  
いるのかを詳しく知ることができま  
した。初めてのインタビューですが三  
森さんがとても丁寧にお話してく  
れたので私たちも楽しくインタビュー  
やお仕事の手伝いを体験することが  
できました。私たちも三森さんのよ  
うに人の役にたてるような人になり  
たいと思いました。

(相馬 萌々葉・藤田 彩華・平山 鉄・前田 青空)



うに干しているところに屋根を作  
ったり、と私たちのために色々なもの  
を手作りしてください。そ  
れ以外にも私たち生徒が生活しや  
すいように校内を安全に快適にす  
るなど私たちのために様々な仕事  
をしてくれています。

最初に環境整備と学校内の仕事に  
ついて詳しくインタビューしてみま  
した。三森さんは主に外で作業す  
ることが多く、木の枝の剪定をし



栃木県立 那須高等学校

栃木県那須郡那須町寺子乙 3932-48  
TEL / 0287-72-0075

HP <https://www.tochigi-edu.ed.jp/nasu/>



HP

お菓子の城 那須ハートランド  
 室井 愛瑠さん  
 むらいあいる



甘さで甘いものが苦手な人でも食べやすい味です。  
 次に、仕事でのやりがいや何を伺いました。愛瑠さんはお客様とのコミュニケーションをとることが仕事上の一番のやりがいとおっしゃっていました。愛瑠さん自身お話し

**室井** 愛瑠さんは、お菓子の城 那須ハートランドで働いている方で、那須高校を昨年度卒業した私たちの先輩です。学生時代は生徒会会長を務めていて、人物図鑑1・2の作成をしたそうです。とても明るく気さくな方で、楽しい雰囲気です。インタビューをすることができました。

お菓子の城は、那須町の観光スポットにも登録されるぐらい人気のお店です。店内に入ると、とても良いお菓子の香りでお出迎えしてくれます。愛瑠さんにお店のおすすめの商品を聞いたところ、一番おすすめのお菓子は、『御用邸の月』と教えてくれました。他にも、高齢の方々におすすめのお菓子は、レーズンバターサンドで、愛瑠さんが一押しのお菓子はバームクーヘンだそうです。

お菓子の城の中は、お土産の販売スペースのほかにカフェやレストランがあります。2回目のインタビューで実際に伺った際に、店内を案内して



いただきましたが、広く内装もとてもきれいでした。

カフェで一番人気のメニューはアイスです。味の種類はバニラ、チョコ、ミックスの3種類。試食させて頂きましたが、バニラアイスは濃厚でやわらかな味、ミックスアイスは、どちらのフレーバーもとても美味しく、混ぜると甘さもちょうどいいバランスになります。チョコはちょうどいい



るのが好きで、お客様とお話するのがとても楽しいそうです。観光地ということもあり、他県のお客様や海外から来るお客様も多く、接客中に那須の自然や旅館などを褒めてもらうこともあるそうです。また、食品を扱う仕事ということで、アレルギーにも気を遣うそうです。万が一アレルギーを持つているお客様に食べさせてしまわないように試食品にもアレルギー表示をしているそうです。

最後に若い世代（那須高生）に伝えたいこと・アドバイスを伺いましたところ、高校3年間という短い時間でたくさん楽しい思い出を作してほしいとおっしゃっていました。たくさん遊んでたくさん写真をとって高校時代を楽しんでいる出として振り返ることができるといいと教えてくれました。また、勉強も一生懸命に取り組むこと、特に資格取得に力を入れると将来の役に立つとも教えてくれました。

私たちは今回のインタビューを通して、室井さんは仕事を楽しむことを第一に考えていて、現地でも私たちの緊張が和らぐように楽しく会話をしてくださり、接客の仕事についても勉強になりました。今後の生活では私たちが室井さんのように楽しく会話ができるようになりたいと思いました。

(織田マリア・鈴木笑美・本橋桃香・福田美羽・渡邊真幸)



お菓子の城 那須ハートランド

栃木県那須郡那須町高久甲4588-10  
 TEL / 0287-62-1800

HP <https://www.okashinoshiro.co.jp>  
 Instagram okashinoshiro1989



HP



Instagram

株式会社那須旅  
やぎこわれく  
八木澤 玲玖 さん



です。八木澤さんは、都内での塾講師の経験があり、多くの生徒に勉強を教えていました。都会に住んでいる中学生は受ける高校の入試の数が多く10校受ける生徒もいたと話していました。数多くの生徒を志望校に合格させた経験をお持ちです。

現在運営する学習塾は、那須中学校から徒歩30秒という立地で、中学生が通いやすい場所にあります。子供を中心とした塾でいつでも子供たちが勉強できるように工夫しているそう

勉強をするときにモチベーションをあげるコツは目標をしっかり立ててメリハリをもって取り組むことで、「勉強する時は勉強する。楽しむ時は楽しむ。」だそうです。そしていろいろなやり方を試しながら、自分に合った方法を見つけていることも大切だとおっしゃっていました。勉強はもちろんのこと、パーベキューなどのイベントも開催していて、生徒との良好な関係も築いています。

会社設立のときに一番悩んだことは、会社名だったそうです。また高校3年生の頃に設立したので、学業と会社運営の両立が大変でしたが、「今しかできない」と思い全力で取り組んだそうです。

私たちは八木澤玲玖さんの会社のことや八木澤さん自身の経験についての話を聞きました。八木澤さんは、株式会社那須旅で代表取締役社長を務めています。高校生の時に第4回とちぎアントレプレナーコンテストで最優秀賞を受賞し、賞金1000万円をもらったそうです。この1000万円を資金に会社を設立しました。那須旅では、那須の魅力を発信するほか、学習塾事業などを展開しています。

最後に高校生へのアドバイスをもらいました。八木澤さんは何事にもチャレンジするといっていました。チャレンジして失敗することも経験で、失敗した話も笑い話にすればいいとおっしゃっていました。

私たちはインタビューを通して、八木澤さんのことをたくさん知ることができました。八木澤さんは本当に生徒思いで、分かりやすく勉強を教えたり、遊んだり、その姿はすごくカッコいいなと思いました。とても話やすかったですので楽しくインタビューができました。

(本澤愛騎・山田勇飛・大島佑梨愛)



株式会社那須旅

栃木県那須郡那須町高久甲 2-39

TEL / 080-8714-4394

HP <https://www.nasutabi.com>



HP



那須地域の良いところは、電車の本数が少ない事、人が少ないところだということです。少ないからこそ長く滞在できる、人が少ないからこそその魅力があるなど何事もポジティブにとらえる八木澤さんらしい答えでした。

期間限定のネイルもあるそうで、ハロウィンでのカボチャやお化け、ライブでの推し活の一環で特別なネイルをする事もあります。ネイルのトレンドはマグネットネイルというもので、爪先を動かすと光で色が変わるネイルがあったり、フラッシュネイルというものはフラッシュ撮影をすると綺麗に見えるので人気があります。続い

と幅広く、最近では学生さんや若い世代も増えているそうです。



Nail salon MONTERI  
山田 亜由美 さん  
やまだ あゆみ



福島白河市で「Nail salon MONTERI」を経営している山田亜由美さんにインタビューをしました。

山田さんがネイリストになろうとしたきっかけは、東日本大震災のあとに、避難先の福島県白河市で気分転換のため初めてネイルサロンに行ったところ、すごく綺麗で感動したことからだそうなんです。その後、細かい作業や話をするのが好きだったということもあり、自分にも白河市のみなさんに同じような感動を与えられたらと思い始めた結果、今のNail salon MONTERIがあるとおっしゃっていました。

主な仕事内容は、ネイルや爪の手入れ、付け爪にキャラクターの絵を描くことなどです。お客さんの悩みやお話を聞くのも仕事のひとつです。お客さんとのコミュニケーションやネイルをすることを楽しんでおっしゃっていました。仕事での

やりがいは、お客さんが帰る際に笑顔で帰っていく姿を見ることで、ネイリストをやっていて良かったと思う瞬間だそうです。

仕事内容について深堀りさせていただきました。まずネイルのデザインによってかかる時間が変わります。ケアをするのに30分、ネイルデザインを含めると1時間からデザインによっては3時間かかるということです。お客さんの年齢は30代から80代



で、ネイリストに向いている人の特徴を伺いました。コミュニケーション力、細かい作業が好きな人、健康な人がネイリストに向いているそうです。

山田さんは趣味をする際にも色々なことを考えて想像力を膨らませる事が大切で、チャレンジをして失敗してもそれは自分のためになるとおっしゃっていました。また、自分の将来に関係ないことだと思ってもとりあえずやってみることが大事だという言葉もいただきました。

今回のインタビューを通して、私たちは普段関わりがないようなことに携わりました。ネイルについて無知な男子生徒三人でしたが、そんな私たちにネイルの良さ

を楽しそうに話していただいて、私たちもネイルの世界にのめり込んできました。そのお陰で新たな視点からネイルというものを見られるようになりました。おしゃれの二環だけでなく、心のケアなど様々な方面からネイルが必要とされていることが分かりました。ネイルやネイリストの方たちが今後益々活躍され進化していくことを、インタビューを通して感じることができました。

これからはこの経験を自分のものにして、学校生活や今後の社会に活かせるように心身ともに何事にも全力で取り組んでいきたいです。

(鈴木輝哉・内藤優・高城藍斗)



Nail salon MONTERI

福島県白河市古高山 2-108  
TEL / 070-8975-5681

HP <https://monteri.select-shop.online/>  
Instagram [nail.salon.monteri](https://www.instagram.com/nail.salon.monteri)



HP



Instagram



お客様に喜んでいただくために工夫していることは、ハウス内の清掃を徹底し、お客様に最高だと思ってもらえるような空間を作ることだとおっしゃっていました。また、料理で最高の体験をしてもらうこともそのひとつだと思います。料理を作るときに特に心掛けていることは、食材に対して敬意を払うこと、那須の新鮮な食材を使った料理で那須のことを知ってもらい、那須の良さを



NOT A HOTEL NASU  
支配人・料理長  
吉田 拓朗 さん  
よしたたくろう



吉田 拓朗さんは「NOT A HOTEL NASU」というホテルで支配人兼料理長をしています。2022年12月1日に開業し、自然豊かな那須の広大な高原に3軒の建物（ハウス）があります。「NOT A HOTEL NASU」は、名前の通りただのホテルではなく、オーナーが別荘として使わない時にはホテルとして貸し出すことができます。現在は1日2組のお客様がそれぞれのハウスを訪れているそうです。吉田さんの主な仕事は料理やハウスの清掃、お客様をおもてなしすることです。



仕事のやりがいは、自分が作った料理がお客様に美味しいと言ってもらえることだそうです。また、真摯な対応が素晴らしいという声もやりがいに繋がるとおっしゃっていました。仕事をしていて心苦しいことは、自分の作った料理や対応をお客様に満足して貰えなかった時です。重労働で朝から晩まで仕事をすることや、人一倍努力しないと他人より手くはなれないことも大変だとおっしゃっていました。



を広めることだとおっしゃっていました。その心掛けが、世界に那須の良いところを伝えるという目標に繋がると教えていただきました。

那須地域の良いところや課題についてお聞きしました。良いところは自然が豊かで食材がとてもおいしいところ、色々な人と関わることでできるイベントがたくさんあることだとおっしゃっていました。課題点については、町ぐるみで那須をブランディングし、盛り上げながらその手伝いや協力をしてい

かなければならないこと、と挙げていただきました。

吉田さんにインタビューをさせていたでいて、仕事について今まで以上に実感することができました。たくさん苦労を伴っても、自分の好きなものを相手に伝えようとする姿勢や行動が仕事のやりがいにつながると思いました。私たちも、那須地域の長所や色とりどりの食材についてもっとよく知りたくなりました。地域の行事にも積極的に参加して、地元に貢献できるような人になっていきたいです。そして、これからの那須をもっと盛り上げていきたいです。

（描き：馬場雅紀・藤田那有太）



NOT A HOTEL NASU

栃木県大田原市狭原 1314-5

HP <https://notahotel.com/shop/nasu>

Instagram [notahotel\\_official](#)



HP



Instagram

6

**インタビュー 2回目**  
実際に講師の方の  
職場へ行ってみた!

事前に調べた行き方で、  
電車やバスを乗り継いで  
職場へ伺い、見学しながら  
インタビュー!



**グループワーク実習**

グループでインタビューする際の  
役割分担を考えてみよう!  
司会進行、タイムキーパー、  
書記、発表者など、役割について実習。  
地域おこし協力隊の伊東 可奈さんをお迎えして、  
伊東さんの悩みを聞き、グループで話し合い、発表を行った。

★  
那須まち人物図鑑4が  
できるまで  
★

1

**インタビューについて学ぶ**

以前の『那須まち人物図鑑』でも  
協力していただいた  
インフルエンサー 近藤あゆさんを  
講師にお迎えして、  
インタビューのノウハウを学ぶ。  
近藤さんに直接インタビューする機会も!!



2

**インタビュー内容まとめ**

各自メモした原稿を元に、  
インタビュー内容をまとめていきます



3

**インタビュー練習**

宇都宮大学生を講師に迎えて  
インタビュー練習。  
自分たちと歳が近い大学生たちに、  
大学のこと将来のこと  
身近なことなどを質問してみる。



**編集委員会**

8

表紙の色やイラスト手配、  
プロローグなどの原稿作成、  
文字校正など  
たくさんの工程を経て…



4

**人物図鑑の  
講師の方を調べる**

自分が担当する  
講師の方について  
チェック!



5

**インタビュー 1回目**

高校に講師の方を  
お招きしてインタビュー!

9

**完成!!**

たくさんの人に読んでもらえると嬉しいです!!





地域のたくさんの方が協力してくださいました



黒田原リヤカー屋台 平山周一さん  
学校運営協議会・鈴木直幸さん



人物図鑑の紹介コーナー



那須高校  
マスコット  
キャラクター  
りんちゃん

# 飛び出す！ 人物図鑑



タロット占いこんどうあゆさん



菓子工房くるみの森 兒玉 早美さん

令和6年度の那須高祭は地域開きを実施！  
過去の人物図鑑に登場して下さった講師の方々  
が図鑑を飛び出し、出店協力してくれました。  
地域とともに作り上げた那須高祭。  
新しい文化祭の在り方にチャレンジし  
那須高校の可能性が無限であることを実感できました。



黒田原のご当地キャラクター『クロロ』もやってきました！



那須どうぶつ王国 平野 知己さん



RAKUDA 山下 三奈さん



COFFEE PALKI 真柄 奈津子さん

「地域とともにある学校」

私が那須高校の魅力化コーディネーターとして着任したのは2024年4月。魅力化事業が始まって5年目の年、すでに「那須まち人物図鑑」の3号が発刊されています。初めて見た時、掲載人数の多さとクオリティの高さに感動しました。さらに、那須高校では人物図鑑制作時の地域連携のみならず、生徒会や家庭クラブ、ボランティア、インターシップや実習など、高校生が日常的に地域に参画している様子に驚きました。

文部科学省の中央教育協議会では「地域と一体となって子供たちを育む『地域とともにある学校』への転換」が目指されています。人口減少に伴い、地域の衰退・学校の統廃合という深刻な課題に直面する中、学校と地域が協力することが、全ての子どもたちの教育を受ける権利を守り、地域を存続させることにも繋がると考えます。しかし、高校の設置者は都道府県であり、学校内の多忙化・複雑化も相まって、地域連携の推進には高いハードルがあるようにも思います。

そんな中、那須高校は『ほぼ日常的に』地

域連携を実施しています。これは「地域連携の活動は、自分の人脈も価値観も広がるので楽しい」という先生方の声にもあらわれています。これまでの経験が学校と地域の信頼関係を築き、地域連携が日常の一部として根付いているのです。

高校生と地域の人たちが友達になる人物図鑑

生徒たちにとって、地域の大人と出会うことにはどんな意味があるのでしょうか。『総合的な探究の時間』で人物図鑑を制作する目的は、「那須地区のことや様々な職業を知る」ことに加え、「地域の大人と友達になる」ことです。高校生の日常は自宅と学校の往復が中心で、同質性の高い環境にいるため、自分を否定したり、ストレスを感じたりすることもありません。

しかし、同じ町に住む年上の「地域の大人の友達」がいることで、生徒たちは視野を広げ、将来の相談をする機会を得られます。実際に、人物図鑑のインタビューで生徒が講師に将来の職業について相談する場面もありました。自宅、学校、そして地域という

第三の場所を持つことが、在学中だけでなく、卒業後も子どもたちが那須町で活躍するための基盤となるのです。

自称SRH校としての今後の飛躍

那須高校は2学級特例校に指定されており、この状況は現在も続いています。生徒数の減少が続けば、廃校の可能性も否定できず、これは地域にとっても大きな課題です。そのため、高校と地域が協力し、共に更新し続けることが求められています。また、この取り組みを苦しいものと捉えず、楽しみながら進めることも大切にしていきたいです。

ある先生は「那須高校はSRH校を目指す！」と話していました。SRHとはスーパー・リージョナル・ハイスクールの略で、「全国で最も地域と密着した高校」という意味です。この取り組みの先に、生徒や教員コーディネーター、そして地域の人々が「那須高校に来てよかった」「那須高校に関わってよかった」と思える未来を共に創っていききたいです。今後もこの活動を続けていきますので、引き続きご協力をよろしく願っています。

那須高校の生徒より講師のみなさまへ 本当にお礼ありがとうございました！

青砥 和希さん インタビューを通してカフェの魅力を知れて良かったです。またカフェをより良くすることも教えてもらってすごく勉強になりました。安齋 陸さん 消防署でいろいろな話を聞かせていただきありがとうございます。消防士さんの仕事は予想以上にたくさんあってすごかったです。磯田 久美子さん お仕事の大変さをインタビューしたときに感じました。また会えることがあればお話をしたいです。ありがとうございます。伊藤 貴之さん お忙しい中時間を作っていただき、ありがとうございます。インタビューを通して行動することの大切さを学ぶことができました。金澤 蓮さん この度は、お忙しい中私たちのために時間を割いてインタビューに答えていただきありがとうございます。金子 紗花さん 今回のインタビューを通して貯金窓口という仕事の繊細さがよく分かりました。本当に2日間ありがとうございました。真山 えみりさん 那須フィルムコミッションの仕事内容について詳しく知ることができました。優しく教えてくださいありがとうございます。白井 克典さん 白井石材で石を作り、お客様が求めているものを提供し、実現させているところを見て、将来に生かして頑張っていきたいと思いました。杉森 龍之介さん 今回私たちのために色々な事を教えてください、ありがとうございます。学んだことを就職活動などに生かしていきたいです。清野 隆さん 今回はインタビューを受けてくださりありがとうございます。この経験を今後に生かしていきたいです。友吉 心愛さん 明るく優しく話をしてくださったおかげで、ダンス指導や構成などの仕事を知ることができました。ありがとうございます。中村 舞子さん 篠工芸のことをわかりやすく教えてください、ありがとうございます。私たちが夢中になれるものを仕事にしたいと思いました。人見 圭祐さん 忙しい中、時間を取っていただきありがとうございます。もらったお茶美味しかったです。

人見 泰雅さん とてもやさしく話しやすい人でインタビューをしていて楽しかったです。これからは学校の作業頑張ってください。古谷 光弘さん インタビューをきっかけに和牛繁殖業を詳しく知ることができました。貴重なお時間を作っていただき、ありがとうございます。三森 浩さん 那須高校の公士として私たちのためにどのような仕事をしていただいているのかをよく知ることができました。ありがとうございます。室井 愛瑠さん 今回インタビューに協力してくださりありがとうございます。現地での学びやどのような仕事で働いているかを知れて、いい勉強になりました。八木澤 玲玖さん 色々面白い話をありがとうございました。本当に話を聞いて楽しく、仲が良かった気がしたのでまた話したいです。山田 亜由美さん 先日は僕たちのために時間を割いてインタビューに協力していただき、普段知れない事を学ぶことができました。ありがとうございます。吉田 拓朗さん わかりやすい説明で那須町の魅力を改めて感じることができました。これからも那須町をもっと盛り上げていきたいです。

山田 亜由美さん 先日は僕たちのために時間を割いてインタビューに協力していただき、普段知れない事を学ぶことができました。ありがとうございます。吉田 拓朗さん わかりやすい説明で那須町の魅力を改めて感じることができました。これからも那須町をもっと盛り上げていきたいです。





歴史や伝統に  
目を向けてみよう！



社会性を  
身につけよう！

好奇心、  
探究心を  
大切に！



たくさんの人と  
話してみよう！



家族に  
感謝をしよう！

何でも  
チャレンジ  
してみよう！



那須まち人物図鑑4 編集委員会

編集長 深澤 あかり

副編集長 山本 佳汰

編集委員 佐藤 泉水

編集委員 鈴木 心菜

編集委員 矢口 菜



イラストレーション

佐藤 泉水

矢口 菜

本橋 桃香

## 編集後記

『那須まち人物図鑑4』が完成しました！

私たち編集委員を筆頭に、生徒主体として制作されました。

編集委員会では、

全員が集合する機会が少なかつたですが、

それぞれの役割を決め、

協力することを大切に活動しました。

このようなことをやるのは初めてで、

責任をもってやれるように頑張りました。

みんなで協力し、支え合っていくことで、

私たち独自の『那須まち人物図鑑4』になったと思います。

今回は実際に講師の方の職場に赴き

インタビューができたので、

仕事の魅力などを

より詳しく記事にすることができました。

地域の方やその他たくさんの方に見てもらい、

那須地域はこんなに魅力的なんだと知ってもらいたいです。

この本がたくさんの方に手に取っていただけたら幸いです。

御協力いただいた皆さま、本当にありがとうございます。

## 那須まち人物図鑑 4

2025年2月28日発行

制作/発行 栃木県立那須高等学校

お問い合わせ 栃木県立那須高等学校

〒329-3215 栃木県那須郡那須町大字寺子乙3932-48

TEL 0287(72)0075

FAX 0287(72)6325

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/nasu/>

写真 那須高校魅力化コーディネーター 佐藤 達夫 (CAZESUN)

デザイン 真柄 奈津子 (CAZESUN)・那須まち人物図鑑4 編集委員会

© Tochigikenritsu Nasu koutougakko all rights reserved.

本誌内容の無断転記・記載・複写を禁じます。



**NASU HIGH SCHOOL**

SUPER REGIONAL HIGH SCHOOL

栃木県立那須高等学校